



人とのつながりは、「**地域のお宝**」で、お互い顔の見える関係から始まる支え合い活動です。サークル活動、趣味の仲間、ご近所さんとのお裾分け、お茶飲み仲間は、5年後、10年後の人生を豊かに過ごすための糧となります。

あなたの今のつながりを「支え合い活動」として意識してみてください。

強戸地区

絵手紙が元気の秘訣 周藤 久子さん



周藤久子さん(81)

久子さんは今年の2月に旦那さんを亡くして以来、ひとり暮らし。ほぼ毎日お友達や家族が周藤さんに会うため自宅を訪れています。普段は趣味の絵手紙を描いたり、旦那さんが大切に育ててきたお花の手入れをして過ごしています。そんな周藤さんの暮らしぶりをご紹介します♪



絵手紙は元気の秘訣！

13年前から、月2回水曜日に強戸行政センターで行われている絵手紙教室に通っています。絵手紙は、家族や友人、お世話になった施設の方に送っています。筆だけでなく、マジックペンや割りばし、爪楊枝など使い、工夫をして描かれています。絵手紙を始めたことで仲間もでき、「絵手紙のおかげで元気が出ている」とお話しされていました。



育てているお花を絵手紙に描いています！❀

～周藤さんのつながり～



久子さん

千代子さん

田島千代子さん

周藤さんとは婦人会をきっかけに出会い、20年以上の付き合いがあります。周藤さんの自宅には週1.2回程度訪れ、お茶のみだけでなく、昼食や夕飯を一緒に食べることもあります。周藤さんは「週1回は来てくれないと寂しい」とお話しされていました。

木村早苗さん

強戸地区民生児童委員協議会会長。今回の取材のきっかけを作っていただいた方です。定期的に周藤さんの自宅を訪問し、見守りをしています。取材にも立ち会っていただき、周藤さんの人柄やつながりの広さをお話していただきました。「周藤さんは多くの方とつながりがあり、周藤さんに出会ってお宝ってこういう事なんだと気づくことが出来ました。」とお話しされていました。



❀隣組とのつながり❀

周藤さんが住む成塚本郷地区は、隣組の交流が活発です。周藤さんが引っ越してきた昭和44年から隣組はできていて、当時は会費を積み立てて、旅行や食事会を行っていました。コロナ禍になってからは食事会などは中止していますが、自宅でお茶のみや、野菜のおすそ分けなどご近所同士の交流は日々行われています。

昔からのつながりを大切にすることで自然に見守りの体制ができ、安否確認に繋がります!!



★あなたの地域のお宝情報を募集しています!

身の回りのお宝を探しています。「私の近所ではこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけている」など、あなたの地域のつながりを教えてください!情報をお持ちの方は右記お問い合わせまでお願いします!



詳しくはこちら

お問い合わせ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係
〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549
TEL 0276-46-6208 FAX 0276-46-6229